

10/16
五旗

デモ行進する「年金者一揆」三重県集會参加者 12日、津市



年金者組合員らデモ

津

「年金者一揆」三重県集會が12日、津市のアストホールで開かれ、年金者組合員ら約130人がプラカードやのぼりを手に市内をデモ行進、「年金下げ止せよ」などと怒りの声を響かせました。集會では辻井良和執行委員長が「戦争することと年金を減らすことは表と裏の関係」と強調。「安倍内閣の戦争の政治を変えること」と「高齢者を含む国民の暮らしを守るために、社会保障の向上と増進の政治を実現す

「戦争と年金削減は一体」

ること」へ向けた団結を呼びかけ、「国民の声と願いを正しく代表する政府」の誕生に期待を表明しました。国を相手に年金裁判をしている県内の原告9人も登壇し、年金改善への決意とともに、戦争法制廃止への熱い思いをそれぞれ語りました。集會には日本共産党から、かまい敏行参院三重選挙区候補が来賓参加し、連帯を表明しました。



病院職員ら 静寂の訴え

廃止求め石川・能美 石川県能美市で9日、県道4号線沿い（小長野）に「戦争する国にさせない」などと書かれたパネルやのぼりを持った約20人が一列に並んで戦争法廃止のサイレント宣伝をしました。宣伝したのは寺井病院の職員たちです。前田利行さん（61）は「戦争法が実現しない一列に並んでアピールする参加者 9日、石川県能美市

施されると、軍事費が増額され、医療・介護の予算が削られる。戦争法は廃止だ」と語りました。母親の介護のため千葉県から帰省中だと言う女性が手書きのパネルを持って飛び入り参加しました。通行する車からクラクションが鳴らされる激励がありました。寺井病院は、6月から「戦争法反対のサイレント宣伝」として、毎月9のつく日と25日の午後0時30分から15分間、行動しています。